

○16番 田中祐衣君

仲津中学校3年、田中祐衣です。私は、見守り活動について質問します。
最近、行橋市内での不審者情報をよく耳にします。登下校などで生徒はもちろん、保護者も不安に思っている人が多くいると思います。現在、学校の見守り活動は、どのように行われていますか。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

田中議員のご質問にお答えします。現在、見守り活動については、学校によって違いはありますが、地域の方、あるいは保護者を中心に、登下校の時間帯に実施していただいております。防犯に大変役に立っていますし、大変ありがたく思っております。

小・中学校共通に行っている見守り活動については、例えば、あいさつ運動の期間は、保護者や地域の方、教員が、地区の各箇所や交差点、校門の前等に立ち、見守り活動を兼ねています。特に、小学校におきましては、保護者や地域の方が日常的に見守り活動を行っていただいております。以上であります。

○前半議長 渕上愛衣君

田中議員。

○16番 田中祐衣君

ご答弁、ありがとうございます。見守りがあると、不安を取り除くことができるし、犯罪を未然に防いだり減らしたりできると思います。見守り活動を強化することはできないでしょうか。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

見守り活動を強化できないかという御質問であります。見守り活動は、ボランティアでの活動のため、どの学校でも、さらに強化できるというわけではありませんが、例えば、不審者情報が続いた場合や、不審者情報の内容によっては、緊急に地域や保護者、学校に、見守り活動を強化していただくようお願いをする場合が考えられます。今後は、地域や保護者の方等との連携をさらに強めてまいりたいと考えております。

また、先ほど他の議員への答弁の際にもお話しましたが、不審者情報等があった場合には、警察に、登下校等の時間のパトロール強化のお願いをしたり、さらに状況によっては、教育委員会が青色パトロールカーで巡回したりしていますので、今後も継続して行

ってまいりたいと考えております。以上であります。

○前半議長 渕上愛衣君

田中議員。

○16番 田中祐衣君

ありがとうございました。次の質問に移ります。

次に、教員や外部指導の数について質問します。仲津中学校には運動部の数が6つあるのに対して、文化部は1つしかありません。そして、先生たちは、朝早くから学校に来て授業をし、放課後は部活動の指導をしていて負担が大きいと思います。

教員の数を増やすために、どのような対策をとっていますか。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

部活動の件について、お答えいたします。部活動外部指導のために市で雇用している方の人数は、現在20名であります。そのうち、文化部で指導していただいている方は2名です。中学校が、外部の方の力を生かして指導してもらいたい部活動を決め、適切な人材を雇用しております。部活動を通して心身の健全育成を図ることを基本として活躍していただいているところであります。以上です。

○前半議長 渕上愛衣君

田中議員。

○16番 田中祐衣君

文化部を増やしたり、先生たちの負担を減らすためにも、外部指導の数を増やしてほしいのでご検討をお願いします。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

すみません、先ほど教員の数についてご答弁をしておりましたので、追加で説明いたします。

まず、教員の数についてお話ししたいと思います。教職員のほとんどは、福岡県教育委員会が任命し、給与等を負担している県費負担教職員という教員であります。この教職員は、学級数に応じて配置する教員の数が決まっていきます。しかし、田中議員もご存じのように、教員が足りないため、本来なら配置すべき教員が配置できていない学校もあるのが現状です。

今後も、今まで以上に、福岡県教育委員会に対して教員不足解消の強い要望をしていくとともに、教育委員会も、また学校も、教員の確保については格段の努力をしてまいりたいと考えています。

また、行橋市独自で雇用している教員が現在4名おります。一昨年の令和5年度に比べて1名増員しております。このように継続的に教員の確保に努めているところであります。

次に、運動部を増やしたり外部指導員を増やしてほしいということではありますが、運動部活動の指導員の増員についてお話したいと思います。

増員するためには、その部活を指導できる人材をまずは見つけなければなりません。その指導者を雇用するために予算化をすることが必要となります。生徒や学校が、部活動で外部指導をしてくれるかどうか、必要な場合は、学校から要望があがってきますので、人材確保と予算化を検討してまいりたいと考えています。教員の確保や部活動外部指導ができる方の増員ができれば、教員の負担が減ります。

また、文化部についても、多くの生徒が希望し、指導できる人材、環境等が整えば、新規にできる可能性はあると考えていますので、今後も教員数の確保に努めるとともに、部活動外部指導ができる方の増員について検討してまいりたいと考えております。

以上であります。

○前半議長 瀧上愛衣君

市長。

○市長 工藤政宏君

補足して、市長・執行部のほうからもお答えさせていただきたいと思います。

これ、本当に議員と同じような思いを持たれている方、中学生の皆さんがいらっしゃると思います。いま教育長のほうからも人材確保という言葉と、それから予算化といった言葉がございました。この予算に関しましては、教育委員会から要望があれば、我々のほうからしっかりとその予算を付けさせていただきたいと思っております。

とにかく今は全国的に教員不足といった問題がございます。そんな中で人材、いかにいい人材を確保するかといったことは非常に難しい部分があるんですけども、可能な限り人材をまずは教育委員会のほうで確保をしてもらってですね、そしてそこにしっかりと予算を付けてまいりたいと思っています。以上です。

○前半議長 瀧上愛衣君

田中議員。

○16番 田中祐衣君

以上で質問を終わります。前向きな回答を、ありがとうございました。